

**[成果情報名]** 水稲奨励品種「にこまる」の栽培法

**[要 約]** 「にこまる」の刈取適期は帯緑歩合が 10%程度の時期であり、施肥量は窒素成分で 9～12kg/10a が望ましい。疎植で玄米外観品質が低下する。

**[キーワード]** 水稲、にこまる、施肥量、収穫適期、栽植密度

**[担 当]** 静岡農林技研・作物科

**[代表連絡先]** 0538-36-1558、電子メール agrisakumotsu@pref.shizuoka.lg.jp

**[区 分]** 水田・畑作物

**[分 類]** 技術・普及

---

**[背景・ねらい]**

水稲奨励品種となった晩生熟期の高温登熟性に優れる良食味米品種「にこまる」の栽培法を明らかにし、速やかな普及面積拡大とブランド米としての地位確立を図る。

**[成果の内容・特徴]**

- 1 「にこまる」の刈取適期は帯緑歩合が 10%程度の時期である（図 1）。
- 2 「にこまる」の施肥量は窒素成分で 9～12kg/10a であり、少ないと収量が低下し、多いと玄米タンパク質含量が増加する。（表 1）。
- 3 「にこまる」は疎植栽培で玄米外観品質が低下する（表 2）。
- 4 「にこまる」は日長反応性が強く、早植栽培には向かない（図表略）。

**[成果の活用面・留意点]**

- 1 平成 23 年の結果である。
- 2 地力のやや低い沖積埴壌土で試験を行った。

[具体的データ]

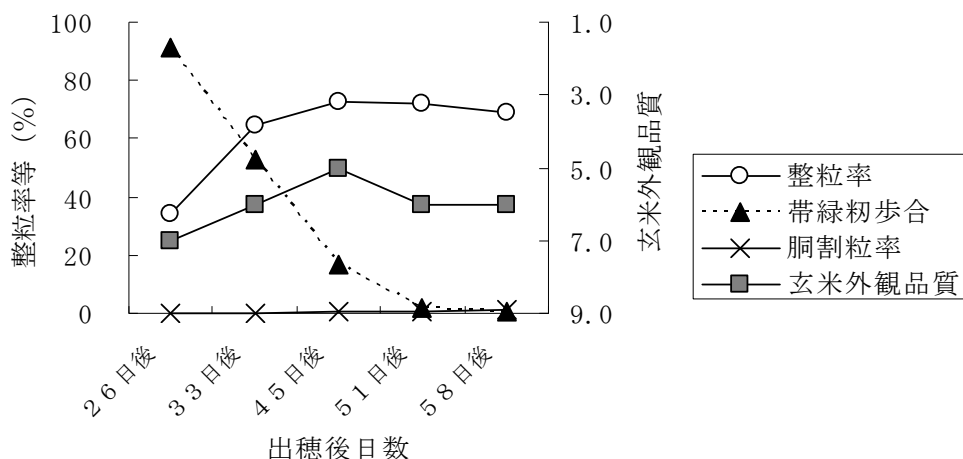


図1 「にこまる」の収穫適期

注) 玄米外観品質は1 (上上) から9 (下下) の9段階評価  
 整粒率、胴割粒率はS社製玄米品質判定機により調査した

表1 「にこまる」の施肥量と生育、収量、品質

試験区	稈長	穂長	穂数	倒伏 <sup>3)</sup> 程度	精玄米重	玄米 <sup>4)</sup> 外観品質	玄米タンパク質 <sup>5)</sup> 含量
	cm	cm	本/m <sup>2</sup>		kg/a		%
6kg/10a	80	c <sup>2)</sup> 17.8	327	b 1.0	40.2	b 6.3	6.7
9kg/10a	86	b 17.6	344	a b 3.0	46.7	a b 6.0	6.9
12kg/10a	89	b 17.8	353	a b 5.0	50.9	a 6.0	7.0
15kg/10a	94	a 18.0	381	a 5.0	50.6	a 6.7	7.6
分散分析 <sup>1)</sup>	*	NS	**	—	*	—	**

- 1) 分散分析は\* : 危険率5%、\*\* : 危険率1%で有意差あり、NS : 有意差なしを示す
- 2) Tukeyによる多重検定、同列異符号間に危険率5%水準で有意差ありを示す
- 3) 倒伏程度は無(0)から甚(5)の6段階評価
- 4) 玄米外観品質は上上(1)から下下(9)の9段階評価
- 5) 玄米タンパク質含量はS社製近赤外分析計で測定した

表2 「にこまる」の栽植密度と収量、品質

試験区 栽植密度	稈長	穂長	穂数	倒伏 <sup>2)</sup> 程度	精玄米重	千粒重	玄米 <sup>3)</sup> 外観品質
/m <sup>2</sup>	cm	cm	本/m <sup>2</sup>		kg/a	g	
18.5株 (慣行)	90	19.6	326	3.0	53.6	22.8	5.0
16.7株	89	19.3	347	5.0	53.1	23.2	5.5
11.1株	89	19.4	321	4.0	51.3	22.3	6.0
分散分析 <sup>1)</sup>	NS	NS	NS	—	NS	—	—

- 1) 分散分析は\*、\*\* : 危険率5%、1%で有意差あり、NS : 有意差なしを示す
- 2) 倒伏程度は無(0)から甚(5)の6段階評価
- 3) 玄米外観品質は上上(1)から下下(9)の9段階評価

[その他]

研究課題名: 水稻・畑作物優良品種決定試験

予算区分: 県単

研究期間: 2011年度

研究担当者: 石田義樹、外山祐介